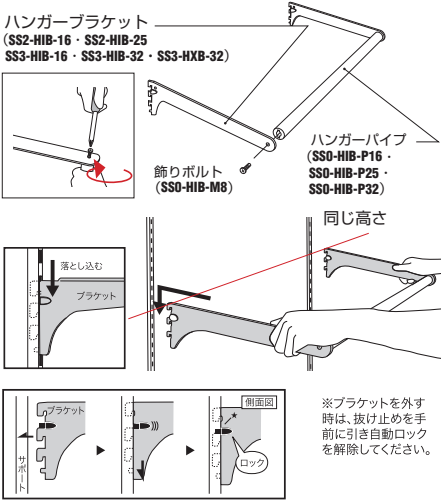


1 グリップを取り付け 2 棚板を押し込む 3 先端に棚板をはめる 4 完成

ハンガーブラケット

■ ハンガーのセッティングと設置



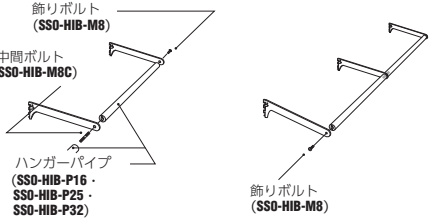
ハンガーブラケットとパイプを、飾りボルト（**SS0-HIB-M8**）で固定します。
※プラスドライバーが必要です

注意：1度取り付けるとネジロック剤の効果により、取り外しができなくなりますのでご注意ください。

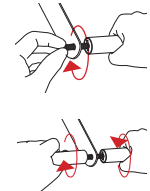
サポートのスリットにハンガーブラケットを差し込み、左右の高さが同じであることを確認し、爪部をしっかり落とし込んでください。

※自動ロックが効いていない場合、「OFFの状態」になっている可能性があるため、自動ロックを「ONの状態」にしてください。

■ ハンガーパイプを連結する場合

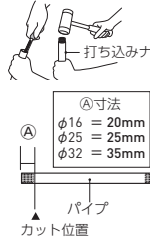
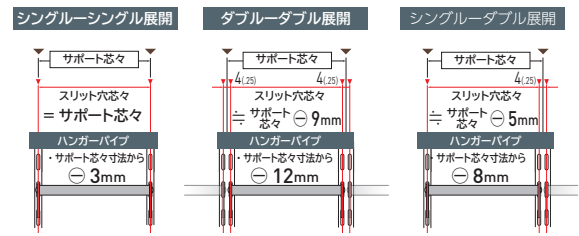


連結ボルト（**SS0-HIB-M8C**）を使用すると、2スパンに渡るハンガーの展開ができます。



連結ボルト（**SS0-HIB-M8C**）を図のように通してハンガーパイプにねじ込みます。もう一方のハンガーパイプ（**SS0-HIB-P16**）にねじ込みます。

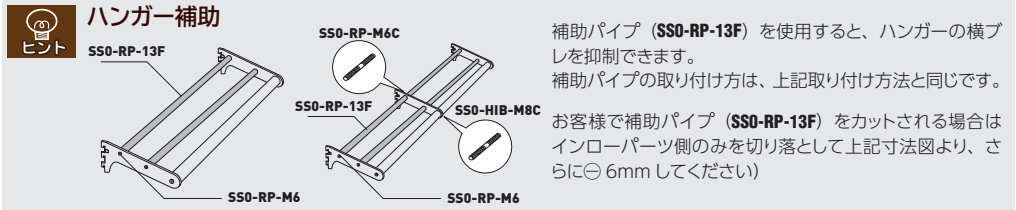
■ 内々展開時のハンガーパイプの納まりとカット



パイプの片方をカットし、パイプの内バリをヤスリで落とします。その後、打ち込みナットをパイプに当てて樹脂または木のハンマーで徐々にたたき入れます。



パイプカッターは、パイプをカットするとバリが内側に入り込み、ヤスリで落とせないので、使用しないでください。



警告・注意

SSシステムをご使用になる前に下記、警告・注意事項・メンテナンスをよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。

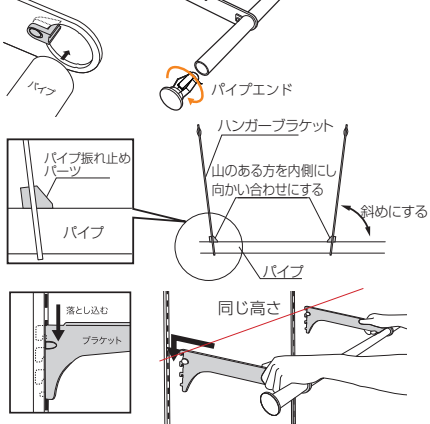
警告

- ①警告を守らない場合、前触れなく棚が落下するなどの突然の事故、その他破損事故が発生する恐れがあります。
- ② 注意を守らない場合、施工作业中の事故や通常使用動作に伴う人身事故、破損事故の発生又は製品そのものの機能を果たさなくなる恐れがあります。
- ③ 他社製品との併用はお止めください。たとえ取り付けが可能であっても、材質や製造方法の違いにより耐荷重性能や安全性が確保できない恐れがあります。
- ④ 棚を設置する場合は必ずブラケットを同じ高さに取り付けてください。段違いに取り付けを行なうと棚板や収納物のガタつきや脱落の原因となります。
- ⑤ 部品が確実に取り付けられていることをご確認ください。（ブラケットツメ部分嵌合など）取り付けが不十分な場合、部品・収納物が落下してケガをする恐れがあります。
- ⑥棚板の上には乗らないでください。破損・落下・転倒してケガをする恐れがあります。
- ⑦パイプにぶらさがらないでください。破損・落下・転倒してケガをする恐れがあります。
- ⑧ 安全目安荷重値よりも重いものを収納しないでください。部品・収納物が落下してケガをする恐れがあります。
- ⑨安全目安荷重値以内であっても、集中的な荷重や、乱暴な積載はお避けください。
- ⑩ 荷重は壁で支えます。製品取り付け前に必ず丈夫な壁下地があることをご確認ください。部品・収納物が落下してケガをする恐れがあります。
- ⑪他社製品（木棚）を使った場合はブラケットの安全目安荷重ではなく木棚の規格（JIS など）をお守りください。
- ⑫ サポート類は上下を逆にせず、必ず商品に記載の上下をお守りください。ブラケットのツメがスリットに入らなくなり、落下事故につながります。
- ⑬ 当社製品のご使用にあたり、予め建物の設計・施工についてもご確認の上、対応ください。また、建物自体の変形、入居後における増改築や改修等の場合も十分ご確認の上、対応ください。

注意

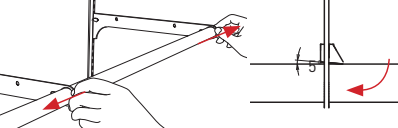
- ①当SSシステムはロイヤルの別ブランド「AAシステム」と互換性ありません。
- SSシステム「シューノ19」と「シューノ32」は互換性ありません。
- 当社製品はすべて屋内用です。屋外では使用しないでください。室内であっても部屋内外の温度差が著しく違う部位には使用しないでください。同じく極端に乾湿を繰り返したり、著しく高温・多湿となる部位には使用しないでください。製品不具合の原因となります。
- 製品に直接水をかけたり、濡れたものを置いたりしないでください。製品不具合の原因となります。
- 棚板やハンガーパイプのレイアウトを変更する時は、1人で行なわず安全のために2人で行なってください。
- 製品の改造はしないでください。製品の強度が失われる可能性があります。
- カタログに記載している製品のカット対応は行ないますが、カット後の切断面については耐食性が低下しますので、サポートについてはサポートキャップの使用をお薦めいたします。
- 製品に粘着テープ（養生テープ・セロハンテープ・シール等）は貼らないでください。製品表面の不具合の原因となります。
- 溶剤・薬品・油・インクなどが付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミや変色の原因になります。
- 埋込施工の場合、クロス棚や塗装がサポート面に付着しないようにご注意ください。サポート面の錆や剥がれの原因となります。
- サポートやパイプをカット加工した場合、切断面から錆が発生する可能性がございます。
- 入居者または第三者の不適切な使用またはメンテナンス等についても十分ご注意ください。製品不具合の原因となります。

■ オーバーハングタイプのセッティングと設置

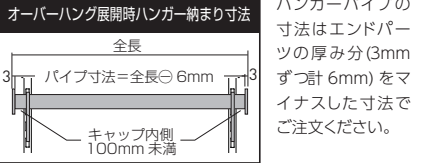


※自動ロックが効いていない場合、「OFFの状態」になっている可能性があるため、自動ロックを「ONの状態」にしてください。

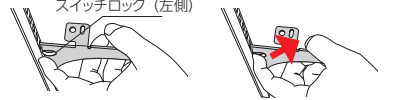
■ ハンガーパイプを固定する



■ オーバーハング展開時のハンガーパイプの納まりとカット



■ ブラケットの外し方



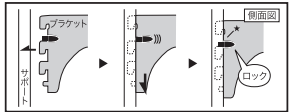
ハンガーブラケットにパイプを通し、パイプエンド（**SS0-HOB-E25・E32**）を取り付けます。

「ハンガーブラケット」は左右があります。右図のように、パイプ振れ止めパーツの山側がそれぞれ内側に向くようにパイプをハンガーブラケットに通します。その際、パイプは斜め方向に挿し込むと通りやすくなります。



パイプ振れ止めパーツはドライバーでの締め込みは不要です。また、パイプ振れ止めパーツは取り外さないようご注意ください。

サポートのスリットにハンガーブラケットを差し込み、左右の高さが同じであることを確認し、爪部をしっかりと落とし込んでください。



※ブラケットを外す時は、抜け止めを手前に引き自動ロックを解除してください。

ブラケットをサポートに取り付けて、ブラケットを外側へ広げていくとテンションがかかり、パイプの動きが抑制されます。

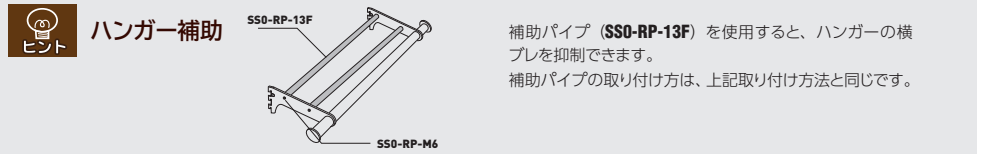


パイプの片方をカットし、パイプの内バリをヤスリで落とします。



パイプカッターは、パイプをカットするとバリが内側に入り込み、ヤスリで落とせないので、使用しないでください。

「スイッチロック」の左側をナメ手前に引き、カチッと固定します。（戻らなくなります）ブラケットを手前に引き上げると外れます。



■ クロスパイプφ19 取り付け手順

- ① 半透明のジョイントパーツをハンガーパイプに取り付けて、壁側へ**SS3-HXS-19**パイプを通します。
- ② **SS3-HXS-19**パイプの先端を通して、壁側先端パーツをねじ込みます。
- ③ U字のパーツを**SS0-RP-13F**パイプの下から当てがい、**SS3-HXS-19**パイプの先端を通して、壁側先端パーツをねじ込みます。
- ④ キヤップを上からかぶせ、固定します。

メンテナンス

- ①日常のお手入れは乾いた柔らかい布で拭いてください。有機溶剤や研磨剤の入ったクリーナーを使用すると製品のサビ、剥離の原因となります。
- ②収納内部には湿気がこもりがちです。結露やカビの発生原因にもなりますので、時々内部の収納物を出して、十分な換気を行なってください。

品質保証について

対象製品

保証の対象製品は、原則として当カタログ掲載製品とします。（特注製品は含みません。）
◎当社が保証いたしますのは、対象商品を当社から直接ご購入いただいた場合に限りです。

保証事項

通常的环境下で、当社のカatalog・施工説明書・取扱説明書に準じた正常な施工・使用がなされている状態で、当社の責任に起因する製品の不良に限りましては、当社製品のみ無償で対応いたします。尚、本内容は日本国内においてのみ有効です。

保証期間

保証期間は検収日から1年間とします。
当社製品の検収後（引渡後）に発見された、当社の責任に起因する製品の不良を無償で対応する期間としております。保証期間経過後の対応については有償となります。

免責事項

- 製品の不良原因が次のような場合には、保証期間内であっても保証対象外になります。
- ① カatalog・取扱説明書・施工説明書・ホームページに記載された用途及び方法以外の施工あるいは使用に起因する不良。
 - ②使用上及び施工上の不備または不当な改造、不適切な維持管理による不良。
 - ③ 天災その他自然現象・周辺環境または製造時に実用化されていた技術では予測することが不可能な事象に起因する不良。
 - ④経時変化による通常一般的な変色、汚れ、サビ、カビ、劣化摩耗などの不良。
 - ⑤犬・猫・鳥・鼠などの動物の害に起因する不良や虫害に起因する不良。
 - ⑥仕上面の傷、凹みなどの不良など検収時に容易に発見できる不良。
 - ⑦日本国内以外での使用による不良。
 - ⑧下地材が関係する性能（防火性能、壁強度など）に関する不良。

性能保証

- ①下地材に係る性能（防火性能、壁強度など）は、設計・施工を伴う総合的な性能である為、保証対象外とします。
- ②カatalog等に表記している各種性能データ等は一定の条件下で測定された参考値であり、保証値ではありません。保証方法保証期間内に「保証事項の対象となる不良」が生じた場合、次の方法により対処します。
 - ・代替製品の無償提供尚、当社が出張しての交換・修理を行なうことはできませんので、ご了承ください。

◎カatalogの改編のタイミングにより、WEBに掲載の情報と差異が生じる場合がございます。ご了承ください。